

回	受賞年度	受賞者名	受賞作品名
日本古典文学会賞			
第1回	昭和50年度	伊井 春樹	「源氏釈の形態」ほか平安文学研究
		犬井 善壽	「平家物語の語りと読み」ほか中世文学、とくに前期軍記物語研究
		延廣 眞治	「烏亭焉馬年譜」ほか近世後期文学研究
		ひの 日野 龍夫	「文人の交遊」ほか近世文学全般、殊に儒学・文人などの研究
		みのべ 美濃部 重克	「閑居友」ほか中世文学、とくに説話文学研究
第2回	昭和51年度	いなだ 稲田 利徳	「日次系草根集伝本考」ほかの一連の正徹研究
		かみお 神尾 暢子	「歳内立春と古今巻頭－王朝の暦法と元方の方法」ほか中古文学作品の研究
		はしもと 橋本 朝生	天正狂言本の大小名狂言－狂言の形成序説2」ほか中世芸能史研究
第3回	昭和52年度	くさか 日下 力	「金刀比羅本『平治物語』の構造」ほかの一連の中世軍記物語の研究
		こうのし 神野志 隆光	「古代時間表現の一問題－古事記覚書」ほか
		やまぐち 山口 仲美	「歌物語における歴史的現在法」ほか
第4回	昭和53年度	こじま 小島 孝之	「『撰集抄』形成私論」ほか中世の説話文学研究
		たかはし 高橋 亨	「源氏物語の内なる物語史」ほか
		さとう 佐藤 恒雄	「新古今の表現成立の一樣相－『むなしき枝に』『露もまだひぬ』をめぐって」
第5回	昭和54年度	いび 揖斐 高	「化政期詩人の地方と中央－佐羽淡斎を中心に」ほか
		さわい 沢井 耐三	「『守武千句』考証」ほか
		たけもと 竹本 幹夫	「天女舞の研究」ほか
第6回	昭和55年度	いとう 位藤 邦生	「伏見宮連歌会と源氏寄合い」ほか
		とくだ 徳田 武	「『三七全伝南柯夢』論」ほか
		はやし 林 雅彦	「絵解きに関する覚書一」ほか
第7回	昭和56年度	かわむら 川村 晃生	「僧正遍照－その詠歌の特質をめぐって」ほか過去の業績
		とくだ 徳田 和夫	「お伽草子時代の説話－『碧山日録』の説話享受から」ほか
		みたむら 三田村 雅子	「『枕草子』の〈笑ひ〉と〈語り〉」ほか
第8回	昭和57年度	かとう 加藤 定彦	「増山井をめぐる問題」ほか季寄に関する研究
		こみね 小峯 和明	「『今昔物語集』天竺部の形成と構造2」ほか一連の「今昔物語集」研究
		もり 森 正人	「説話形成と天竺・震旦仏法史」ほか一連の『今昔物語集』研究
第9回	昭和58年度	まきの 牧野 和夫	「中世の太子伝を通して見た一、二の問題2」及び過去の一連の研究
		みすみ 三角 洋一	「平安中後期の『住吉物語』及び過去の業績
		やまさき 山崎 誠	「『和漢朗詠註抄』攷」及び過去の業績
第10回	昭和59年度	わたなべ 渡邊 秀夫	「小野小町異譚－『玉造小町子壮衰書』攷」ほかの業績
		あかせ 赤瀬 信吾	「曼殊院良鎮とその遠景」及び過去の『自賛歌註』ほか中世和歌古註研究
		ながしま 長島 弘明	「秋成資料雑俎」「『春雨物語』と和歌」ほか上田秋成研究
第11回	昭和60年度	あべ 阿部 泰郎	「慈童説話の形成－天台即位法の成立をめぐりて」ならびに過去の業績
		きたがわ 北川 和秀	「『続日本紀』諸本の系統」等ならびに過去の業績
		やまもと 山本 一	「速詠の季節－文治後半の慈円と周辺」ならびに過去の業績
第12回	昭和61年度	くろだ 黒田 彰	「酒呑み童子と白猿伝－唐代伝奇と御伽草子」等ならびに過去の業績
		うぶかた 生形 貴重	「四部合戦状本平家物語評釈」ならびに過去の業績
		さえき 佐伯 眞一	
		はやかわ 早川 厚一	

第13回	昭和62年度	やまざき よしゆき 山崎 福之	『万葉集』巻十六の漢語－『劇歌』をめぐって」ならびに過去の業績
第14回	昭和63年度	おきはら ちづる 荻原 千鶴	「女鳥王物語と春日氏后妃伝承の定着」及び一連の女鳥王説話の研究
		たかさか けんじ 田坂 憲二	「源氏物語注釈」に関する多年の業績
		ふじわら かつみ 藤原 克己	「平安朝の漢文学」ほか
第15回	平成元年度	たかぎ げん 高木 元	「江戸読本の形成－貸本屋の出板をめぐって」ほか一連の読本研究
		おちあい ひろし 落合 博志	世阿弥伝書「五位」ならびに清原良賢の研究
		しなだ よしかず 品田 悦一	「短歌成立の前史・試論」ほか一連の万葉集研究
第16回	平成2年度	いわたつぼ たけし 岩坪 健	「源氏物語の二段階伝授について－河内方と四辻善成・一条兼良をめぐって」
		わたなべ やすあき 渡部 泰明	「藤原俊成における『姿』－〈一句引用〉の姿について」ほか
		たなか たかこ 田中 貴子	「〈玉女〉の生成と限界－『慈鎮和尚夢想記』から『親鸞夢記』まで」
第17回	平成3年度	てつお きまひろ 鉄野 昌弘	「転換期の家持－『臥病』の作をめぐって」ほか一連の家持研究
		こばやし なおき 小林 直樹	「『三国伝記』の方法－別伝接続と説話連関をめぐって」ほか一連の業績
第18回	平成4年度	なかがわ ひろお 中川 博夫	「藤原教定について－関東シ候の延臣歌人達」と一連の中世和歌に関する研究
		あらかき ひろし 荒木 浩	「〈次第不同〉の物語－宇治拾遺物語の世界」ほかの研究
		やまもと ひでき 山本 秀樹	「『血かたびら』臆断－秋成物語論の実践」ほか一連の秋成研究
第19回	平成5年度	たがuchi くみこ 田淵 句美子	「藤原長綱について－『前権典厩集』と『藤原長綱集』」
		しおむら こう 塩村 耕	「津田休甫と若衆歌舞伎縁起巻」ほか一連の研究
		いしかわ とおる 石川 透	「室町物語と幸若舞曲－『かわちかよひ』と『伏見堂盤』」
第20回	平成6年度	すずき けんいち 鈴木 健一	「霊元院歌壇年表稿」ほか一連の近世和歌に関する研究
		ふじわら ひでき 藤原 英城	月尋堂と八文字屋－その匿名作家としての可能性」ほか
第21回	平成7年度	くぼた けいいち 久保田 啓一	「歌論と添削－冷泉為村の実作指導理念」冷泉家の復興と冷泉門の人々」などの研究
		ささき たかひろ 佐々木 孝浩	「鞠聖藤原成通影供と飛鳥井家の歌鞠二道」ほか一連の研究
第22回	平成8年度	あさだ とおる 浅田 徹	「俊成の古今問答をめぐって」などの研究
		こばやし かずひこ 小林 一彦	「康元元年の藤原光俊」－鹿島社参詣と稲田姫社十首をめぐって」
		ふくだ やすのり 福田 安典	「享保三年京の一夜」－都賀庭鐘の周辺」
第23回	平成9年度	いとう たまみ 伊東 玉美	『院政期説話集の研究』武蔵野書院
		ほりかわ たかし 堀川 貴司	「禅林の文学とその周辺」ほかの研究
		かんさく けんいち 神作 研一	「一枝軒野村尚房の伝と文事」ほかの研究
第24回	平成10年度	いけざわ いちろう 池澤 一郎	「近世中期の文人画家、浦上玉堂の研究」など
		すずき はじめ 鈴木 元	『室町の歌学と連歌』新典社
		よこやま やすこ 横山 泰子	『江戸東京の怪談文化の成立と変遷 十九世紀を中心に』風間書房
第25回	平成11年度	いしい ともこ 石井 倫子	『風流能の時代 金春禅鳳とその周辺』東京大学出版会
		おがわ たけお 小川 剛生	室町期の即位灌頂－東山御文庫蔵「後福照院閔白消息」をめぐって
第26回	平成12年度	かわひら としふみ 川平 敏文	「梟舟子閑寿は青木鷺水に非ず－和学者覚書－」ほかの研究
		こあきもと たん 小秋元 段	「五十川了庵の『太平記』刊行－慶長七年刊古活字を中心に」など
第27回	平成13年度	さとう ゆきこ 佐藤 至子	「趣向としての当世風景－文政期合巻の一面」などの一連の研究
		たなか こうじ 田中 康二	『村田春海の研究』汲古書院
第28回	平成14年度	しば かよ 柴 佳世乃	「明覚と『読経道』」ほかの研究に対して
第29回	平成15年度	こばやし ふみ子 小林 ふみ子	「大田南畝『七観』をめぐって－詩文と戯作」ほかの研究
		もりた ていこ 盛田 帝子	「光格天皇と宮廷歌会－寛政期を例に」など一連の研究

第30回	平成16年度	こうづ たけお 神津 武男	論文「浄瑠璃本の刊行日」ほか
		きょう かつら 佐藤 かつら	「明治初期における新聞と歌舞伎」ほか
		すずき あきら 鈴木 彰	「『蜷川家文書』にみる軍記物語享受の諸相とその環境」ほか
第31回	平成17年度	こやま じゆんこ 小山 順子	「藤原良経『六百番歌合』恋歌における漢詩文摂取」
		なかの たかふみ 中野 貴文	「『徒然草』第一部の文学史的性格について」
		みやもと けいぞう 宮本 圭造	「上方能楽史の研究」
		よしの ともみ 吉野 朋美	「後鳥羽院の実朝懐柔と和歌――建保三年『院四十五番歌合』について」
日本古典文学学術賞			
第1回	平成20年度	おきもと ゆきこ 沖本 幸子	『今様の時代―変容する宮廷芸能』東京大学出版会
		きたむら まさゆき 北村 昌幸	「足利尊氏の変貌―『太平記』巻十四の本文改訂をめぐる―」
第2回	平成21年度	おかざき まさこ 岡崎 真紀子	『やまとことば表現論―源俊頼へ』笠間書院
		こいだ ともこ 恋田 知子	『仏と女の室町―物語草子論―』笠間書院
第3回	平成22年度	くぼき ひでお 久保木 秀夫	『中古中世散佚歌集研究』青簡舎
		みずたに たかゆき 水谷 隆之	「『団袋』の西鶴―団水との両吟半歌仙について―」
第4回	平成23年度	きむしどく 金時徳	『異国征伐戦記の世界―韓半島・琉球列島・蝦夷地―』笠間書院
第5回	平成24年度	ひらの たえ 平野 多恵	『明恵―和歌と仏教の相克』笠間書院
第6回	平成25年度	いちのへ わたる 一戸 渉	『上田秋成の時代 上方和学研究』ペリかん社
		みつのぶ しんや 光延 真哉	『江戸歌舞伎作者の研究：金井三笑から鶴屋南北へ』笠間書院
第7回	平成26年度	きごし しゆんすけ 木越 俊介	『江戸大坂の出版流通と読本・人情本』清文堂
第8回	平成27年度	ごうやま りんたろう 合山 林太郎	『幕末・明治期における日本漢詩文の研究』和泉書院
第9回	平成28年度	きのした はなこ 木下 華子	『鴨長明研究―表現の基層へ―』勉誠出版
		まき あいこ 牧 藍子	『元禄江戸俳壇の研究―蕉風と元禄諸派の俳諧―』ペリかん社
		こさい ようへい 小財 陽平	『菅茶山とその時代』新典社